

## 平成30年度 学校関係者評価委員会議事録

日 時 平成30年10月16日(火) 午後3時より

場 所 日本指圧専門学校4階3番教室

文京区小石川2丁目12-4

学校関係者評価委員 6名(内3名欠席)

出席委員 馬場 雄一、古堅 道也、大久保 恵

その他出席者 石塚 寛、黒沢 純一、高橋 雄輔、金子 泰隆、渡邊 和雄  
浪越 雄二、岡村 文夫、加藤 剛

欠席委員 嶋田 洋、菅野 実希子、坂本 裕

議長の嶋田委員欠席のため、  
黒沢委員が議長に選任された。

事務局

お忙しい中お集まり頂ありがとうございます。

どうぞご審議をお願いいたします。

教員

30年度の本校の自己評価と自己評価表確認。

気になることがありましたらあげて頂き議題にしていきたいと思います。

委員

学生支援の項目について、高校との連携によるキャリア教育を行えば、入学希望者も増える  
のではないかと。

教員

資格的に難しい。

本校では高校卒業後すぐの入学は1割程度で、キャリアにつながっていくかは不明。

あんまマッサージの資格の学校には難しいと思います。

委員

社会人のキャリアアップに関してはどうか。

教員

夜間部には社会人が多く、キャリアアップにつながっている。

教員

高校と連携してキャリア教育は難しいが、高校に向けて職業説明を行っている。

教員

マイナビなどの高校生に向けた進学フェスタに参加することで、あん摩マッサージ指圧師の職業を知ってもらう取り組みを行っている。

教員

学校の『教育理念・目標』などはすべて3の評価になっていますが、皆さんの各期における評価はいかがでしょうか。

委員

ほぼ適切であると思う。

委員

とてもわかりやすい特色があり、いいと思う。

教員

先生方から何かありませんか。

教員

教育関係では今年度から新カリキュラム導入。

1年生は3期生に戻して、大幅な改定を行った。

カリキュラム上は卒業後即戦力となれるよう、実習強化が図られた。

あとは実際に学年が上がってきたときに、どういう教育を行うか。

さらにすぐれた卒業生を出せるように卒業生の先生方にもご協力を頂きたい。

委員

『(5) 学生支援』学生の生活環境への支援が2になっている。

教員

生活環境への学生支援の内容が難しい。

教員

他校では寮を作って学生が勉強しやすい環境を作っているところもある。

しかし、本校ではそこまでできない。

委員

『学生に対する経済的な支援』は3になっているが。

教員

奨学金などの手続き的な部分でたすけている。

教員

学校を途中で辞めなければならない学生などへの支援は難しいと思う。精神的な部分を相談するにもむずかしいところもある。

教員

精神的な問題にはカウンセラーからカウンセリングを受けたり、担任に相談したりをすすめている。

#### 事務局

ハローワークの教育訓練給付金を受けている学生も増えていて、経済的には大きい支援がある。

#### 教員

基準を下回らないで出席すれば最大金額もらえるもの。

それでも欠席が増えてしまう学生もいる。

もったいない。

#### 委員

学生支援で『保護者と適切に連携している』とはどういうことですか。

#### 教員

未成年者などはどうしても保護者と連携しなければならないときがある。家族には登校していると言っていながら欠席が続く場合もある。

保護者は現状を知らされないまま、休学、退学を希望することもある。

保護者と連携することで早めに対処できることがある。

#### 委員

『進路・就職に関する支援体制』に関して、3になっている。

年に2回会社説明会も行っているし、3よりよくていいのではないか。

参加させてもらったが、本気で考えている学生も多い。

#### 教員

卒後の進路はそれぞれですが、皆さんが学生のときは進路相談についてはいかがでしたか。

#### 委員

私は介護の現場で働いていたので、だいたい訪問マッサージの現場のことは知っていたが、同級生は、イメージがつかめていないまま就職した人もいる。

もう少し現場の状況を知る時間があってもいいと思う。

教員

臨床実習で、外部の施術所で実習を出来るという可能性が見えてきた。

将来に向けて、条件が整えばやってみてもいいと思う。

実際に訪問マッサージに何人もくっついていくのは無理。少人数で行くか、見学するか、もう少し時間をかけて固めたい。

教員

皆さんのお力をお借りすることもあるかもしれません。よろしくお願いします。

事務局

職業実践専門課程の委員会として始まった学校関係者評価委員も 5 年目です。最初のころは 1 から全部やっていったのですが、評価については少しずつ直している。

現在、専門職大学への移行申請が行われたところ。様々な学校が申請したが、結局本年は 1 校のみ。

教員

具体的な大学への基準をみて考えていかなければならない。

教員

建物やカリキュラムなど、本校では厳しいところが多く、現状、その方向には動いていない。

カリキュラム改定で単位数増加したが、また、5 年後、見直しの時期が来る。また増えてくるかもしれない、昼間部夜間部の時間を調整していかなければならないと思う。

教員

臨床実習指導者講習に馬場委員に出席していただきました。

委員

とても大変でしたが、勉強になりました。

外部の施術所での実習先になれるということなのですが、実際に見学で学生を受け入れるにはむずかしい部分もある。

患者さんに見学してもいいか確認すると、どうしてもというなら仕方ないけどという方と、

いやですという方が多い。

#### 教員

学内でやっている臨床実習の指導を行うことも出来るのでぜひ古堅委員と大久保委員にも講習に参加していただきたい。

#### 委員

どうせ学校に行くなら、鍼灸も一緒にという声が多い。

講習会でも鍼灸師が多い。

メディアでも美容の鍼など取り上げられている。

#### 教員

来年から NSCA 認定校として授業を行う予定。

スポーツ分野における指圧の価値向上と在学中から受講できて、民間資格とはいえ、ひとつ資格を取れるようになります。

卒業生も可能ですのでぜひよろしくお願いします。

#### 教員

ぜひ、どなたかご紹介いただければ。

臨床実習の患者さんなどで指圧体験していただくことも可能です。

#### 事務局

国際交流に関して、留学生は受け入れられないが、講習などで海外の方に講習を行っている。

#### 教員

フランスからは毎年受講しに来ている。フランスでは指圧がブームらしい。ヨーロッパは禅指圧系統の指圧が多いが、浪越指圧に目を向ける団体もある。

教員

今年 8 月にフランスパリにて 4 日間の指圧講習を行った。初めての浪越指圧でもしっかり対応して押していた。本校とのつながりはできたばかりだが、校長のミシェル先生は誠実な方であった。体力的には疲れたが、浪越指圧を学ぼうという気持ちが強く、講習は楽しかった。

教員

もっと海外での講習を増やしたらどうか。

教員

信頼できる団体かどうか判別が難しい。学校に来てもらう講習はなるべく受け入れる。

事務局

次回の学校関係者評価委員会は来年になります。皆さんよろしくお願いします。